

播磨支店 生産推進室 三上室長 黄綬褒章受章

播磨支店で勤務いただいております三上秀昭さんが、この秋の褒章で黄綬褒章を受章されました。

三上さんは、1983年に神戸製鋼所に入社し、世界に誇る船舶用一体型クランク軸の加工に従事し、その技術の確立、向上、及び生産性の向上に優れた実績をあげ、従来の加工方法にとらわれず、新しい加工方法、工具、計測器等を考案し、世界最高効率の機械加工を実現されました。

一体型クランク軸は軸部・ピン部の寸法公差、幾何公差等の機械加工精度が重要であることに加え、異型な形状を有する製品であることから機械加工時に製品が独特な挙動を生じるため、高度な加工技能を必要とする製品です。仕上げ加工を行なう旋盤加工の高い知識・技能を有し、実作業だけに留まらず機械加工時に発生するこの製品の独特な挙動を考慮した数値制御機械加工（NC機械加工）の導入についても第一線で携われました。この知識・技能によって、熟練作業による汎用加工（手動加工）が主流であった一体型クランク軸の加工領域において、自動計測・自動運転を可能とするシステムを考案・実現することで従来の生産体制を革新させる等、同加工の生産性・品質向上に優れた実績を挙げられました。

2020年10月から当社へ出向され生産推進室長として、今まで築かれた知識と技能を活かし、より効率の良い加工方法の指導・技能継承にご尽力いただき、安全面においても職場のリスク低減に大きく貢献していただいています。

この度は「黄綬褒章」受章おめでとうございます。

（播磨支店 部長 河野 智一）

